

申立ての内容（1 / 4）	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b> 1 全体評価</p> <p><b>【原文】</b> 「・・・学生定員の未充足があったことから、改善に向けた取組が<u>求められる。</u>」</p> <p><b>【申立内容】</b> <b>【修正文案】</b>の通り変更願いたい。</p> <p><b>【修正文案】</b> 「・・・学生定員の未充足があったことから、改善に向けた取組を<u>実施している。</u>」</p> <p><b>【理由】</b> 改善に向けた取組（全学的な学生募集活動や学修成果の広報等）を行ってきた結果、平成27年度は収容定員の充足率90%（平成28年度は充足率100%）以上を達成しており、未充足は改善されている。それに対して<b>【原文】</b>は、「改善されていない」又は「改善に向けた取組が行われていない」という捉え方をされるため。</p>	<p><b>【対応】</b> 原案のとおりとする。</p> <p><b>【理由】</b> 平成27年度には学生定員が充足していることは理解するが、第2期中期目標期間中3か年にわたり学生定員の未充足（90%未満）が生じていることを勘案し、継続的な取組が求められること等を踏まえた文案としているため。</p>

申立ての内容（2 / 4）	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b>  2 項目別評価  （1）業務運営の改善及び効率化</p> <p><b>【評定】</b></p> <p><b>【原文】</b>  「中期目標の達成状況が<u>おおむね良好</u>である」</p> <p><b>【申立内容】</b>  <b>【修正文案】</b> の通り変更願いたい。</p> <p><b>【修正文案】</b>  「中期目標の達成状況が<u>良好</u>である」</p> <p><b>【理由】</b>  まず、第2期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領における「良好」の判断基準（目安）「すべてIV又はIII」を満たしているため。  また、同要領「・・・収容定員の充足率が一定程度（90%）以上となっているかどうか、第2期中期目標期間中の推移を勘案し、評価する。」に照らし、全学的な広報戦略や取組の結果、平成27年度は90%（平成28年度は100%）以上を達成しており上昇傾向である「第2期期間中の推移を勘案」していただきたい。  さらに、本項目における各年度評価結果（評定）は、「順調」が過半数を占める4回（H22・H23・H26・H27）であり、「おおむね順調」は2回（H24・H25）のみであった。  以上のことから、第2期の総合的な評定は「良好」が妥当であると考える。</p>	<p><b>【対応】</b>  原案のとおりとする。</p> <p><b>【理由】</b>  中期目標期間評価は、評価実施時点における中期目標期間全体の業務の状況についての調査・分析をもとに行うものであり、中期目標期間中に行われた年度評価の評定を積み上げて行うものではなく、平成27年度には学生定員が充足していることは理解するが、第2期中期目標期間中3か年にわたり学生定員の未充足（90%未満）が生じていることを勘案し中期目標の達成状況を「おおむね良好」であると判断しているため。</p>

申立ての内容（3 / 4）	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b>  2 項目別評価  （1）業務運営の改善及び効率化  <b>【評定】</b>（理由）</p> <p><b>【原文】</b>  「・・・と認められるが、<u>大学院専門職学位課程における学生定員の未充足があったこと等を総合的に勘案したことによる。</u>」</p> <p><b>【申立内容】</b>  削除願いたい。</p> <p><b>【理由】</b>  申立ての内容（2 / 4）と同様に、第2期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領「・・・収容定員の充足率が一定程度（90%）以上となっているかどうか、第2期中期目標期間中の推移を勘案し、評価する。」に照らし、全学的な広報戦略や取組の結果、平成27年度は90%（平成28年度は100%）以上を達成しており上昇傾向である「第2期期間中の推移を勘案」していただきたい。</p>	<p><b>【対応】</b>  原案のとおりとする。</p> <p><b>【理由】</b>  中期目標期間評価は、評価実施時点における中期目標期間全体の業務の状況についての調査・分析をもとに行うものであり、中期目標期間中に行われた年度評価の評定を積み上げて行うものではなく、平成27年度には学生定員が充足していることは理解するが、第2期中期目標期間中3か年にわたり学生定員の未充足（90%未満）が生じていることを勘案し中期目標の達成状況を「おおむね良好」とであると判断しているため。</p>

申立ての内容（４／４）	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b>  2 項目別評価  （１）業務運営の改善及び効率化  &lt;特記すべき点&gt;</p> <p><b>【原文】</b>  「（改善すべき点）○大学院専門職学位課程における学生定員の未充足・・・引き続き定員の充足に向けた取組に努めることが求められる。」</p> <p><b>【申立内容】</b>  削除願いたい。</p> <p><b>【理由】</b>  申立ての内容（２／４）と同様に、第２期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領「・・・収容定員の充足率が一定程度（90%）以上となっているかどうか、第２期中期目標期間中の推移を勘案し、評価する。」に照らし、全学的な広報戦略や取組の結果、平成27年度は90%（平成28年度は100%）以上を達成しており上昇傾向である「第２期期間中の推移を勘案」していただきたい。</p>	<p><b>【対応】</b>  原案のとおりとする。</p> <p><b>【理由】</b>  中期目標期間評価は、評価実施時点における中期目標期間全体の業務の状況についての調査・分析をもとに行うものであり、中期目標期間中に行われた年度評価の評定を積み上げて行うものではなく、平成27年度には学生定員が充足していることは理解するが、第２期中期目標期間中３か年にわたり学生定員の未充足（90%未満）が生じていることを勘案し中期目標の達成状況を「おおむね良好」とであると判断しているため。</p>